

令和3年度 第2回 緩和ケアスキルアップ研修会 アンケート集計

R3.10.20(水) 荘内病院 講堂 18:30~20:00

* O・A : 「市民主体のケーススタディえら部 ~A-LOVE~のご紹介」

* 担当 : 連携ワーキングスペースみどり町文庫 えら部メンバー 小柳 朋之氏

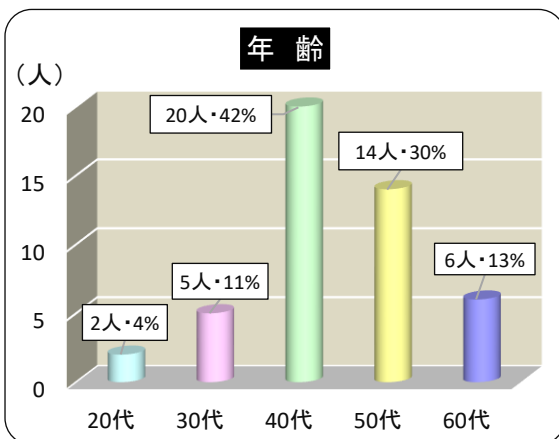
* 講演 : 「重篤な病を持つ人との話し合い」をどう進めるか
~実際にACP(人生会議)を進めるコミュニケーション~

* 講師 : 一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平氏

* 参加 : 50名 *アンケート協力者 : 47名 (94%)

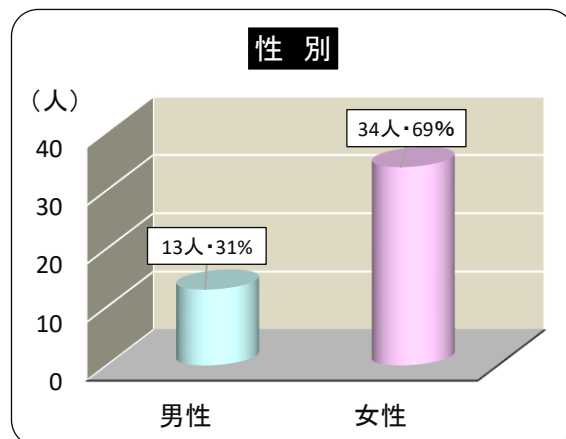
① 年齢

20代	2
30代	5
40代	20
50代	14
60代	6
合計	47



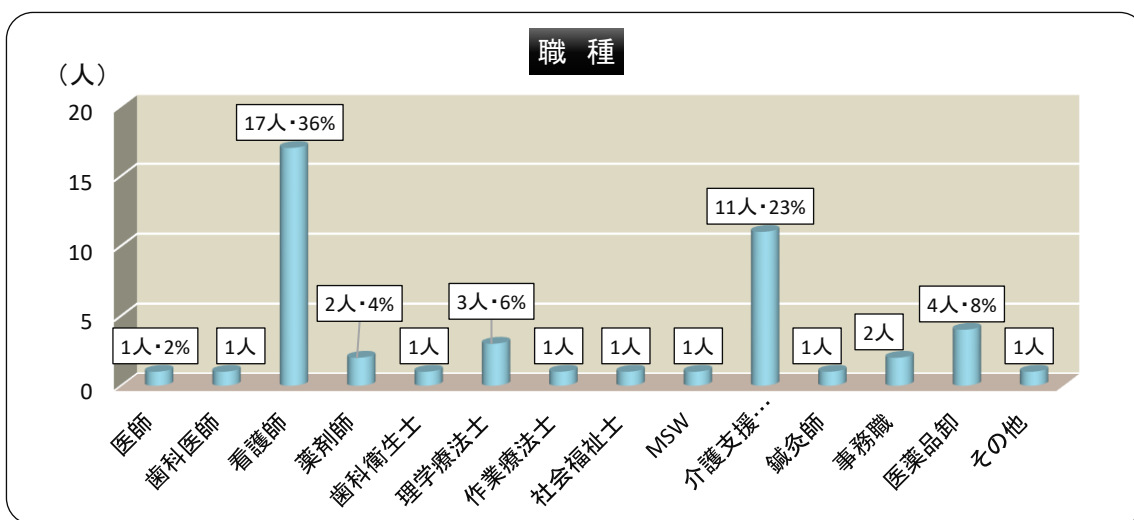
② 性別

男性	13
女性	34
合計	47



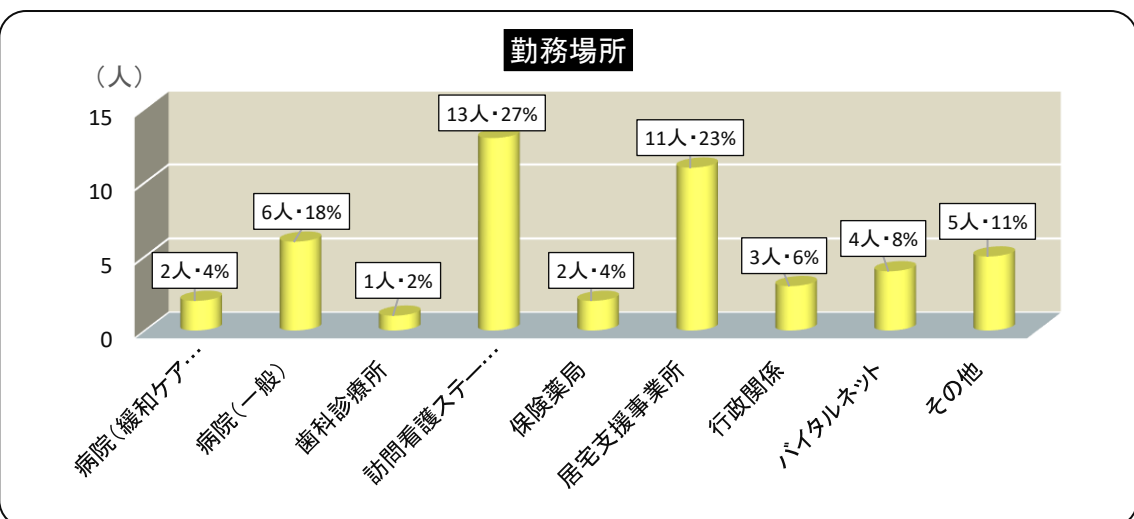
③ 職種

医師	1
歯科医師	1
看護師	17
薬剤師	2
歯科衛生士	1
理学療法士	3
作業療法士	1
社会福祉士	1
MSW	1
介護支援専門員	11
鍼灸師	1
事務職	2
医薬品卸	4
その他	1
合計	47



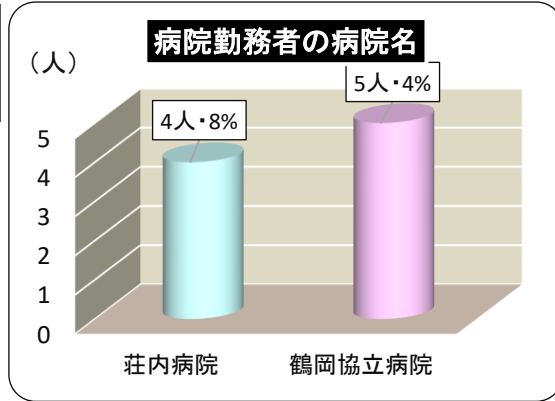
④ 勤務場所

病院(緩和ケアチーム)	2
病院(一般)	6
歯科診療所	1
訪問看護ステーション	13
保険薬局	2
居宅介護支援事業所	11
行政関係	3
バイタルネット	4
その他	5
合計	47



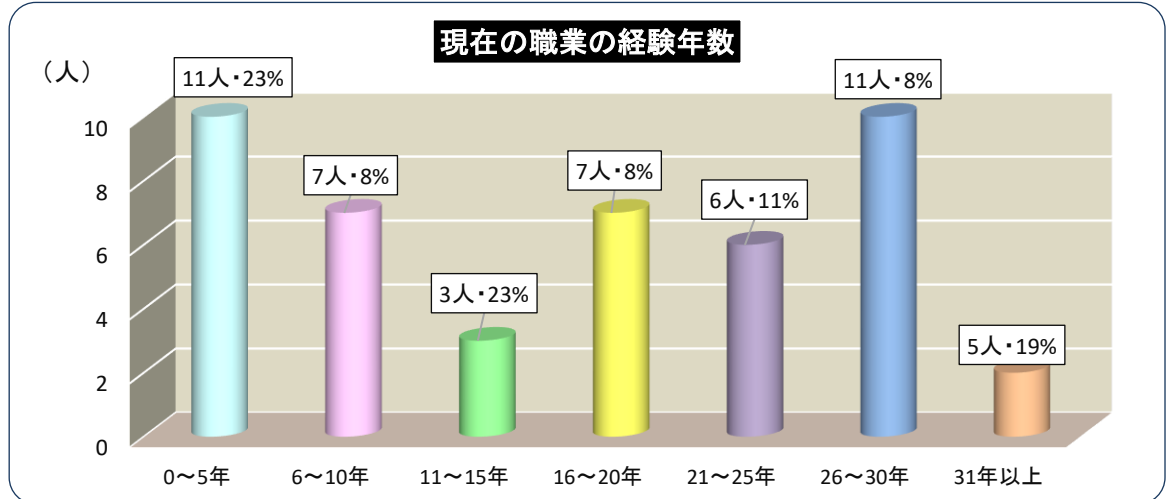
⑤ 病院勤務者の病院名

荘内病院	4
鶴岡協立病院	5
合計	9



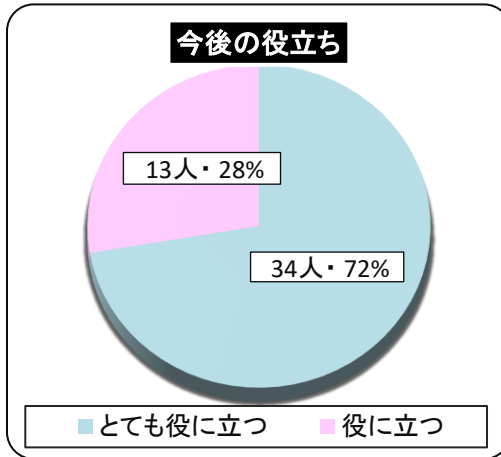
(6) 現在の職業の経験年数

0~5年	11
6~10年	7
11~15年	3
16~20年	7
21~25年	6
26~30年	11
31年以上	2
合計	47



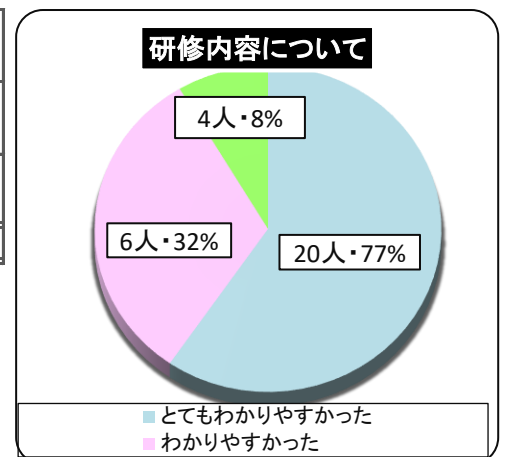
(7) 今後の役立ちについて

とても役に立つ	34
役に立つ	13
合計	47



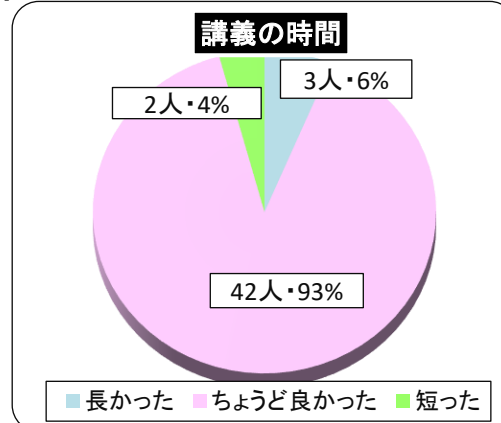
(8) 内容について

とてもわかりやすかった	28
わかりやすかった	15
少しわかりにくかった	4
合計	47



(9) 講義の時間について

長かった	3
ちょうど良かった	42
短かった	2
合計	47



《自由記載（感想・要望・改善点など）》

- ▶ 話し合いの手引きについて、研修を受けたいと思いました。実践につなげてみたいです。（病院 看護師）
- ▶ ありがとうございました。オンラインでも十分に有意義な研修会だったと思います。（作業療法士）
我々が選択肢を持つことは大事だが、医師、看護師の側からこちらの志を汲み取ってくれるようなコミュニケーションを、トレーニングしていただいているというのはありがたく、是非多くの病院で行っていただきたいと思った。（はりきゅう香堂 鍼灸師）
- ▶ 医療側、介護側のACPの共有が大事と感じ、特に連携方法については課題と感じました。（訪問看護ステーション 理学療法士）
- ▶ 話し合いの手引きは、とても勉強になりました。（保険薬局 薬剤師）
- ▶ 難しい内容でしたので、さらに知識を深めようと思いました。専門書等で学ぼうと思います。（歯科衛生士）
- ▶ 話し合いの手引きはとても役に立つと感じた。じっくり読み込んで、実践できるようにしたいと思った。ありがとうございました（訪問看護ステーション 理学療法士）
- ▶ 患者に分かりやすい説明をする、話を聞いてくださる医師が増えてくれるとありがたいです。早口で専門用語だと分かりにくかった。（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）
- ▶ COPDで一度は余命宣告を受けている患者さんに訪問しています。余命宣告以上に生きていらっしゃており、調子が良いため、最期に向けた話をするのはほとんどなかったのですが、誰が行っても良いとのことと参考にしたかったです。（保険薬局 薬剤師）
- ▶ SICGについて調べて、日々の患者対応に役立てようと興味があった。手引きを持ち歩いて、患者ケアを行い、身のある話し合いをしたい。（病院 看護師）
- ▶ 本人が何をしたいか、何を聞きたいかなど、聴くこと又は医療者から何かを伝えることにはコミュニケーションスキルがないと難しいと思った。話し合いの手引きなど見ながら、実践につなげていけたらいいと思いました。ありがとうございました（病院 看護師）
- ▶ 今後の対応、院内学習に活かしていきます。ありがとうございました。（病院 看護師）
- ▶ 患者さんや家族の方々が納得できる形の緩和ケアを行うためには、本人達から直接話を聞くことは避けられないことであり、それを聞き出すことは、人によって難しいことも多くあるように思います。そういった場面でも、まずは本人の気持ちに寄り添い、理解することの大切さを改めて感じました。私自身が患者さんと接する機会はほぼないのですが、当事者となった際には、気持ちを大切に対応したいと思いました。（医薬品卸）
- ▶ チェックリストを使って話し合いをする、という事になるほどと思いました。仕事柄、重篤な病気を持つごと、利用者に関わることも多いので、今後、どのように過ごされたいか、面談を行う際に参考にさせていただきます。本日はありがとうございました。（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）
- ▶ 話し合いの手引き、とても参考になりました。トレーニング、イメージしていきたいと思いました。（訪問看護ステーション 看護師）
- ▶ とても参考になりました。自分の父を看取る時にACPがもっと進んでいたら、知っていたらと思いました。介護の現場でも看取りはあります。（進んでいます）もっと家族への話し方、対応を学びたいと感じます。（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）
- ▶ 残された家族へのケアについて、聞いてみたい（医薬品卸）
- ▶ 緩和ケア、ACPのお話を聞くのは初めてではありませんが、学べば学ぶほど、難しいものだと感じました。普段から侵襲的なコミュニケーションになってしまったり、決めつけていることが多いなど気付かされました。また、参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。（医薬品卸）
- ▶ 今回もありがとうございました。あい庄内クリニックの斎藤院長のお話を聞いてみたいです。（医薬品卸）
- ▶ とても勉強になりました。今後の業務で役立てていく様にしたいと思います。ありがとうございました。（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）
- ▶ とても勉強になりました。現在、がん末期の方をケアマネとして担当しています。SICGの内容を情報共有していただき（そのような体験を受けた方と）また、在宅で更に家族、本人の意向を聞き、よりよい終末期を過ごせるように、支援に繋げることができるようになりたいです。（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）
- ▶ 本人、家族の思いを聞く、思いが変わることに対し、受け止める。短期間のお付き合いになるが、寄り添い援助できることを学びました。（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）

ご協力ありがとうございました。健康塾・スキルアップ研修会グループ